平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月10日

上場会社名　株式会社スタジオアリス　上場取引所　東
コード番号　2305　URL http://www.studio-alice.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）川村 廣明
問合せ先責任者（役職名）常務取締役 管理本部長　（氏名）宗岡 直彦　TEL 06-6343-2600
四半期報告書提出予定日　平成26年11月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	23,011	4.9	△665	―	△683	―	△938	―
25年12月期第3四半期	21,931	5.6	△699	―	△710	―	△905	―

(注)包括利益　26年12月期第3四半期　△865百万円 (―%)　25年12月期第3四半期　△723百万円 (―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	△55.18	―
25年12月期第3四半期	△52.71	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第3四半期	26,420	15,008	54.6	848.74
25年12月期	25,116	16,913	65.2	953.81

(参考)自己資本　26年12月期第3四半期 14,415百万円　25年12月期 16,385百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	―	0.00	―	45.00	45.00
26年12月期	―	0.00	―		
26年12月期(予想)				45.00	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年 1月 1日～平成26年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	4.6	4,100	32.5	4,070	31.1	1,750	41.4	101.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期3Q	17,185,650 株	25年12月期	17,185,650 株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	201,258 株	25年12月期	6,258 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期3Q	17,006,059 株	25年12月期3Q	17,179,392 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビューの手続きの対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビューは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
（将来に関する記述等についてのご注意）
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8
（重要な後発事象） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府主導の経済政策により、設備投資の回復や円安に伴う輸出企業の収益改善等、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、消費環境においては、消費増税に伴う駆け込み需要の反動による弱さが懸念され、先行き不透明な状況となっております。

このような状況のもと、当社グループは、主力である写真事業において、競合他社との差別化強化を図り、お客様に選んでいただけるお店になるための取り組みをおこなってまいりました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は23,011百万円（前年同期比4.9％の増加）、営業損失は665百万円（前年同期は699百万円の営業損失）、経常損失は683百万円（前年同期は710百万円の経常損失）、四半期純損失は938百万円（前年同期は905百万円の四半期純損失）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

（写真事業）

写真事業は、５月から開始した「早撮り七五三キャンペーン」、並びに、「七五三お出かけ着物レンタル」の件数獲得に努めるとともに、昨年に引き続き、７月下旬から８月にかけて、雑誌「ちゃお」とのコラボレーション企画である「ちゃおモデル体験撮影会」を実施いたしました。そのほか、８月に「百日赤ちゃん 笑顔の写真絶対撮りますキャンペーン」を実施し、赤ちゃん撮影の件数獲得に努めました。

国内こども写真館の出店状況は、移転５店舗を含む25店舗出店、退店４店舗を行い、ショッピングセンター内の区画移動・増床を含む改装を138店舗実施いたしました。

その結果、当第３四半期連結会計期間末の店舗数は、国内こども写真館467店舗（直営店舗457店・フランチャイズ店舗10店）、アミューズメント写真館３店舗、ペット写真館１店舗、韓国の子会社におけるこども写真館６店舗、台湾の合弁会社におけるこども写真館６店舗を含め、483店舗となっております。

以上の結果、写真事業の売上高は22,849百万円（前年同期比5.0％の増加）、セグメント損失は665百万円（前年同期は742百万円のセグメント損失）となりました。

（衣装製造卸売事業）

衣装製造卸売事業は、引き続き、当社向け衣装の生産コストの低減を図るため、生産工数の効率化向上に取り組みました。

以上の結果、衣装製造卸売事業の売上高は1,590百万円（前年同期比2.7％の増加）、セグメント利益は233百万円（前年同期比7.3％の減少）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①　資産の状況

当第３四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ1,304百万円増加し26,420百万円となりました。

流動資産は、法人税等及び配当金の支払いに伴う現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末と比べ209百万円減少の10,330百万円となりました。

固定資産は、改装等による有形固定資産の取得等により、前連結会計年度末と比べ1,514百万円増加の16,090百万円となりました。

②　負債の状況

当第３四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ3,209百万円増加し11,412百万円となりました。

流動負債は、短期借入金の増加等により、前連結会計年度末と比べ3,023百万円増加の9,305百万円となりました。

固定負債は、資産除去債務の増加等により、前連結会計年度末と比べ185百万円増加の2,107百万円となりました。

③　純資産の状況

当第３四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ1,904百万円減少し15,008百万円となりました。

これは主に、当第３四半期純損失及び前連結会計年度の剰余金の処分（配当金支払い）などによるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第３四半期連結会計期間までの業績は概ね当初計画どおり推移しており、平成26年２月10日に公表した業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成26年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,616,310	5,248,038
受取手形及び売掛金	778,032	1,172,507
たな卸資産	1,102,313	1,281,861
その他	2,080,961	2,660,150
貸倒引当金	△37,200	△32,100
流動資産合計	10,540,417	10,330,458
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,157,616	7,154,562
その他（純額）	3,441,016	3,669,280
有形固定資産合計	9,598,633	10,823,842
無形固定資産	960,959	1,139,952
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,023,144	3,100,031
その他	1,142,247	1,194,638
貸倒引当金	△149,035	△168,135
投資その他の資産合計	4,016,356	4,126,534
固定資産合計	14,575,949	16,090,330
資産合計	25,116,367	26,420,788
負債の部		
流動負債		
買掛金	380,035	322,819
短期借入金	1,150,000	3,550,000
1年内返済予定の長期借入金	195,000	50,000
未払法人税等	597,814	134,189
賞与引当金	11,214	344,703
その他	3,947,409	4,903,616
流動負債合計	6,281,473	9,305,329
固定負債		
長期借入金	20,000	－
退職給付引当金	539,423	583,652
資産除去債務	881,825	929,591
その他	480,557	594,112
固定負債合計	1,921,806	2,107,355
負債合計	8,203,280	11,412,685

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成26年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	12,335,728	10,624,268
自己株式	△9,222	△275,592
株主資本合計	16,267,905	14,290,074
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	118,013	125,333
その他の包括利益累計額合計	118,013	125,333
少数株主持分	527,168	592,695
純資産合計	16,913,087	15,008,103
負債純資産合計	25,116,367	26,420,788

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成26年１月１日 至　平成26年９月30日）
売上高	21,931,736	23,011,909
売上原価	17,219,150	18,317,355
売上総利益	4,712,586	4,694,553
販売費及び一般管理費	5,411,632	5,360,346
営業損失（△）	△699,046	△665,792
営業外収益		
受取利息	2,370	2,538
受取家賃	19,412	19,432
為替差益	―	14,379
雑収入	21,978	23,381
営業外収益合計	43,760	59,732
営業外費用		
支払利息	18,207	15,290
店舗解約損	19,999	35,469
貸倒引当金繰入額	―	20,000
為替差損	14,131	―
雑損失	3,368	6,599
営業外費用合計	55,706	77,359
経常損失（△）	△710,992	△683,419
特別損失		
固定資産廃棄損	167,441	236,628
減損損失	49,591	263,359
関係会社株式評価損	―	2,033
関係会社整理損	38,026	―
特別損失合計	255,059	502,021
税金等調整前四半期純損失（△）	△966,051	△1,185,441
法人税、住民税及び事業税	313,974	492,582
法人税等調整額	△441,819	△805,163
法人税等合計	△127,845	△312,580
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△838,206	△872,860
少数株主利益	67,370	65,527
四半期純損失（△）	△905,577	△938,388

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成26年１月１日 至　平成26年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△838,206	△872,860
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	115,177	7,319
その他の包括利益合計	115,177	7,319
四半期包括利益	△723,029	△865,540
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△796,445	△931,068
少数株主に係る四半期包括利益	73,416	65,527

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成25年１月１日　至平成25年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,758,176	173,559	21,931,736	―	21,931,736
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	1,375,199	1,375,199	△1,375,199	―
計	21,758,176	1,548,759	23,306,935	△1,375,199	21,931,736
セグメント利益又は損失（△）	△742,476	251,469	△491,007	△208,039	△699,046

（注）１．セグメント利益又は損失（△）調整額△208,039千円には、固定資産の調整額等△49,321千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△158,717千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失（△）と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間においては49,591千円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成26年１月１日　至平成26年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,842,362	169,547	23,011,909	―	23,011,909
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,380	1,421,421	1,428,802	△1,428,802	―
計	22,849,742	1,590,968	24,440,711	△1,428,802	23,011,909
セグメント利益又は損失（△）	△665,267	233,154	△432,112	△233,680	△665,792

（注）１．セグメント利益又は損失（△）調整額△233,680千円には、固定資産の調整額等△70,692千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△162,987千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失（△）と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間においては263,359千円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。